

中野駅周辺まちづくりグランドデザイン Ver.3(素案たたき台)

平成24年3月26日

中野駅周辺まちづくり推進会議資料

第1章 基本的な考え方～位置付け～(本体:P1)

1. グランドデザインの目的

- ハード・ソフトの将来像、整備の考え方、取り組み
- 公民協働でまちづくりを推進するための指針
- 関連計画との整合を図りつつ、目標達成への道筋やステップを示していく

【参考】

新しい中野をつくる10か年計画(第2次)

まち活性化戦略の展開1、「にぎわいと魅力あふれ東京の新たな活動拠点」として位置付け

第1章 基本的な考え方～位置付け～(本体:P1)

2. 改定の経緯

●Ver.1:平成18年12月策定

- 警大跡地開発を契機に、中野駅周辺のソフト・ハードの将来像を描く

●Ver.2:平成21年10月策定

- 警大跡地の地区計画、事業の進展
- 駅地区整備の具体的な検討

●Ver.3:平成24年6月策定に向け検討中

- 機能配置再検討～国家公務員宿舎中止など
- 地域活性化に向けたタウンマネジメント
- 安全・安心の観点からのまちづくりのあり方

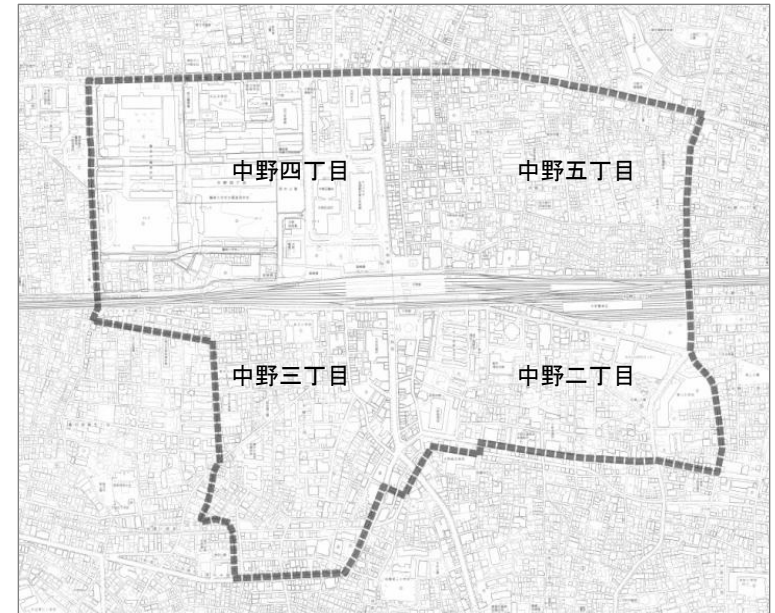
第1章 基本的な考え方～位置付け～(本体:P2)

3. 策定範囲

約110ha(中野二、三、四、五丁目及び一丁目の一部)

4. 目標時期

2012年(H24)～2032年(H44)
の20年間



【参考 Ver.2】

30年間の時間軸、I期～III期を10年ごとに区切る

第1章 基本的な考え方(本体:P3)

価値軸を明確にした都市基盤整備

防災や環境、景観、ユニバーサルデザインなど、価値観を明確にし、それに基づいた都市基盤整備を推進

多核回遊型都市の形成

各地区の個性を活かした核となる都市機能の配置・集積回遊動線整備を進め、まちの活力・魅力を高める

タウンマネジメント推進体制の構築

行政が適切な役割を果たしつつ、区民、民間事業者の主體的なまちづくりを活かして相乗効果を生み出す

第2章 将来像と実現への戦略(本体:P4)

**【将来像1】
最先端の業務拠点**

東京の新たなエネルギーを
生み出す活動拠点

**【将来像2】
個性豊かな文化発信拠点**

**【将来像3】
最高レベルの生活空間**

持続可能な活力あるまちを目指して

第2章 将来像と実現への戦略(本体:P4~6)

【将来像1】

最先端の業務拠点

- 企業や教育・研究機関などの多様な活動
- 業務活動の成果につながる人的・知的交流の場
- 仕事以外の時間を彩る豊かな商業、飲食、文化・教育施設
- 職住近接のライフスタイル
- 回遊を促すユニバーサルデザインの道路交通環境

【現状と方向性】

- 業務・商業活動の拡充
- 人的・知的交流の「場」の確保
- 多様な都市機能の集積
- 職住近接のライフスタイル推進
- 道路交通環境の改善

《主な取り組み》

- 周辺地域と調和のとれた開発による業務・商業・住宅の集積
- 学習活動や余暇活動を充実させる場の誘導・整備
- 企業活動や教育・研究活動をサポートする機能の整備
- 歩行者動線の整備、都市計画道路や駅前広場の整備・機能改善

第2章 将来像と実現への戦略(本体:P7~8)

【将来像2】

個性豊かな文化発信拠点

- 多様な表現・文化活動の集積、人材とコンテンツの輩出
- まちを活性化する魅力の発見・発信・ブランド化
- オープンスペースからの文化発信
- 国内外から広く注目されるまち

【現状と方向性】

- 独自の文化・産業形成
- まち活性化に向けた環境整備
- オープンスペースの有効活用
- 大規模イベント等の開催に向けた環境づくり

《主な取り組み》

- 都市型産業集積創出拠点等における集積・情報発信・人材育成
- 駅やまちなかにおける情報発信・案内の仕組みの構築
- オープンスペースを活用した表現・文化活動の場の創出
- 新たな大規模集客施設の整備、大規模イベント等の誘導

第2章 将来像と実現への戦略(本体:P9~10)

【将来像3】

最高レベルの生活空間

- 安全で快適なまちなみ
- 量的・質的に充実した商業空間
- どのライフステージにあっても、安心して健康を維持できる生活
- 多世代が居住するコミュニティ

【現状と方向性】

- 安全性や快適性の向上
- 商業空間の拡充
- 生活や健康サポート機能の構築
- 多世代居住促進による地域形成

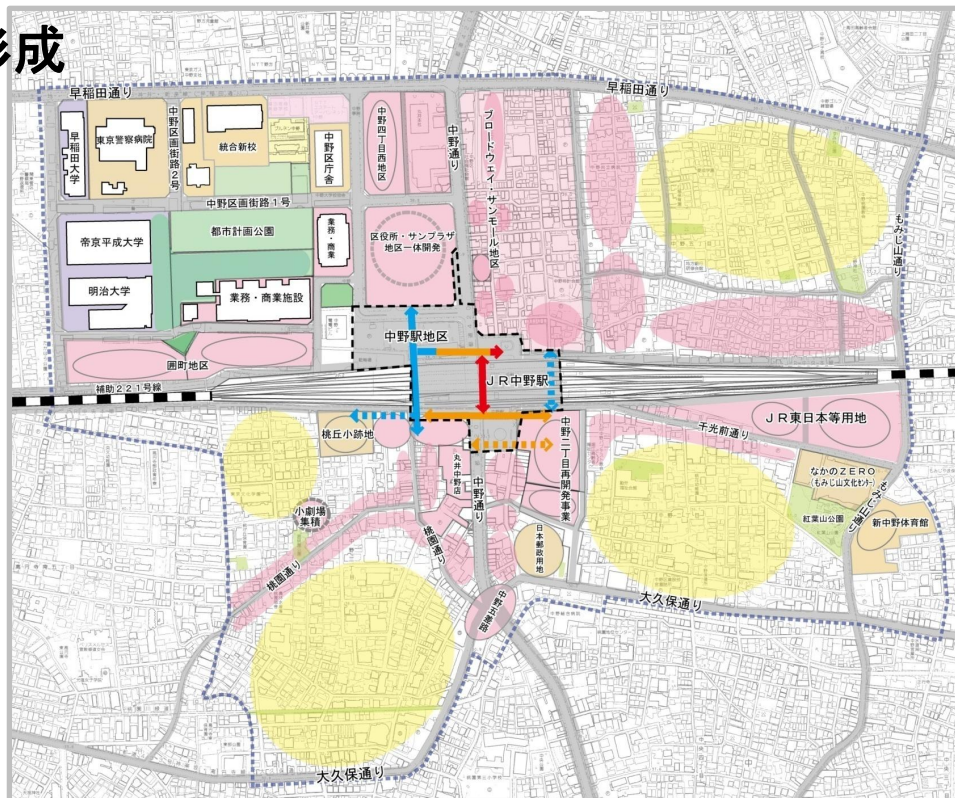
《主な取り組み》

- ユニバーサルデザインや景観に配慮した基盤整備、公共空地の創出
- 新たな商業集積、個人のニーズに合わせた買い物サービスの導入
- 駅周辺での生活・健康サポート施設の立地やサービスの展開
- 各世代のニーズに合わせた良質・多機能な住宅の誘導

第3章 中野駅周辺整備の方向性(本体:P11~12)

【空間整備の考え方】

- オープンスペースの拡大
- 防災機能の向上
- 歩行者優先・公共交通指向の道路・交通ネットワーク構築
- 環境への配慮、緑のネットワーク構築
- 新たな活動拠点にふさわしい景観形成
- ユニバーサルデザインのまちづくり
- 各地区の特色を活かした核づくり



第3章 各地区の整備方針(本体:P13~14)

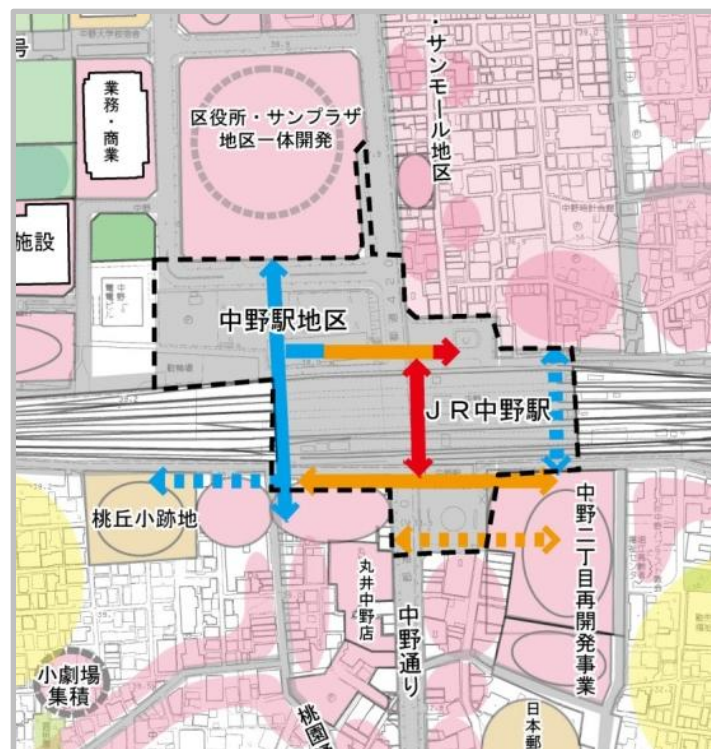
中野駅地区～まちをつなげにぎわいを導く

【新北口駅前広場】

区役所・サンプラザ地区との一体的整備

【中野三丁目駅前広場】

西側南北通路における南側玄関口としての駅前広場の整備



【中野駅(駅ビル)】

回遊性や生活利便性の向上、地域商業のさらなる発展につながる駅ビルの誘導

【南口駅前広場】

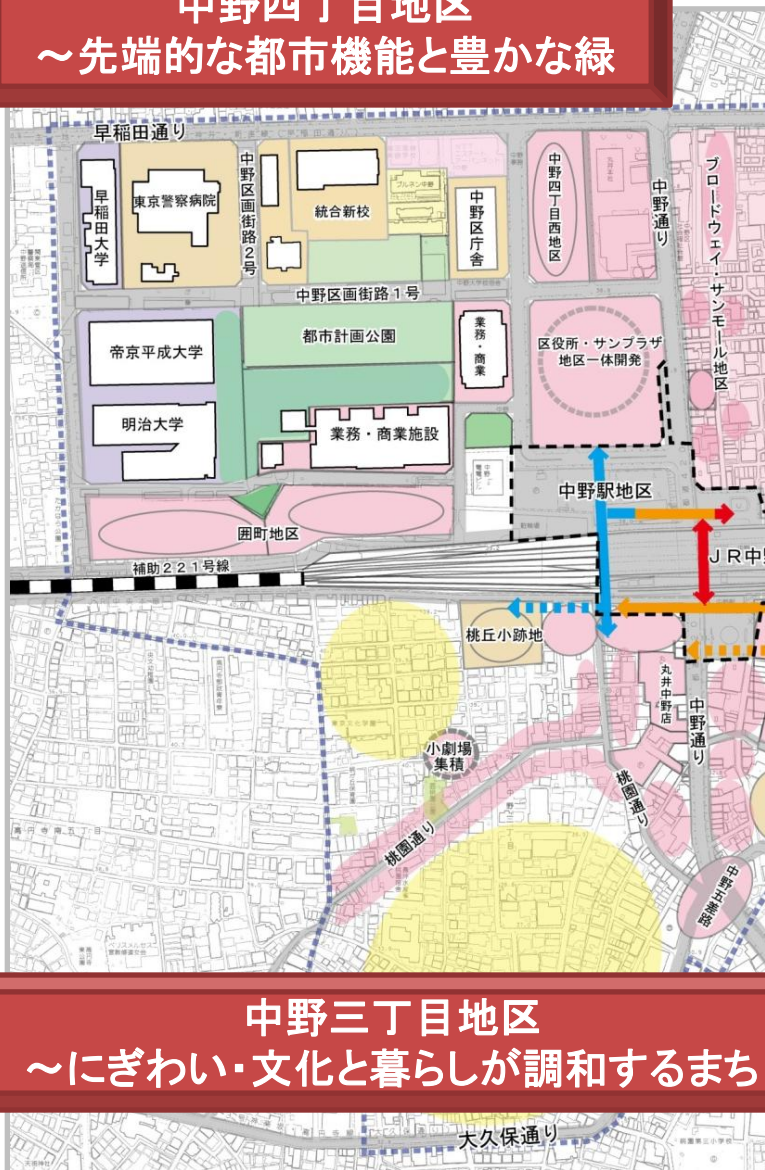
市街地再開発とあわせた拡張整備

【各地区をつなぐ動線】

- 中野三丁目と四丁目をつなぐ西側南北通路の整備
- 中野二丁目と三丁目をつなぐ南側東西連絡路の検討
- 中野二丁目と五丁目をつなぐ東側南北通路の可能性検討

第3章 各地区の整備方針(本体:P15~17)

中野四丁目地区 ～先端的な都市機能と豊かな緑



中野三丁目地区 ～にぎわい・文化と暮らしが調和するまち

【中野四季の都市】

防災など多様な公園機能を拡充させるため、中野四季の森公園を拡張

【区役所・サンプラザ地区・新北口駅前広場】

- 区役所・サンプラザ地区の大街区化、周辺用地一帯の交通便利性に配慮した都市計画道路の再編
- 区役所・サンプラザ地区における大規模集客空間や広場空間の整備(民間事業者とのパートナーシップによる整備・施設運営)

【囲町地区】

市街地再開発の誘導、補助221号線の整備

【四丁目西地区】

周辺の土地利用と整合したまちづくりの誘導

【中野三丁目駅直近地区及び桃丘小跡地区】

- 防災性や利便性を高める、街区の再編や道路整備による面的なまちづくりの実施
- 桃丘跡地の事業用地としての活用

【桃園通り沿い地区】

- 共同化や建替えなどによる歩行者空間の創出
- にぎわい・文化のまちなみ形成

第3章 各地区の整備方針(本体:P18~19)

【中野通り沿い地区、サンモール・ブロードウェイ地区】

地区の再開発や共同化、街区再編の誘導

【中野五丁目全域】

- 共同化や街区再編の誘導、公共空地の創出
- 円滑な物流の確保、消防活動困難区域の解消

【中野駅直近地区】

中野二丁目とつなぐ南北通路、再開発の誘導

【南口駅前広場】

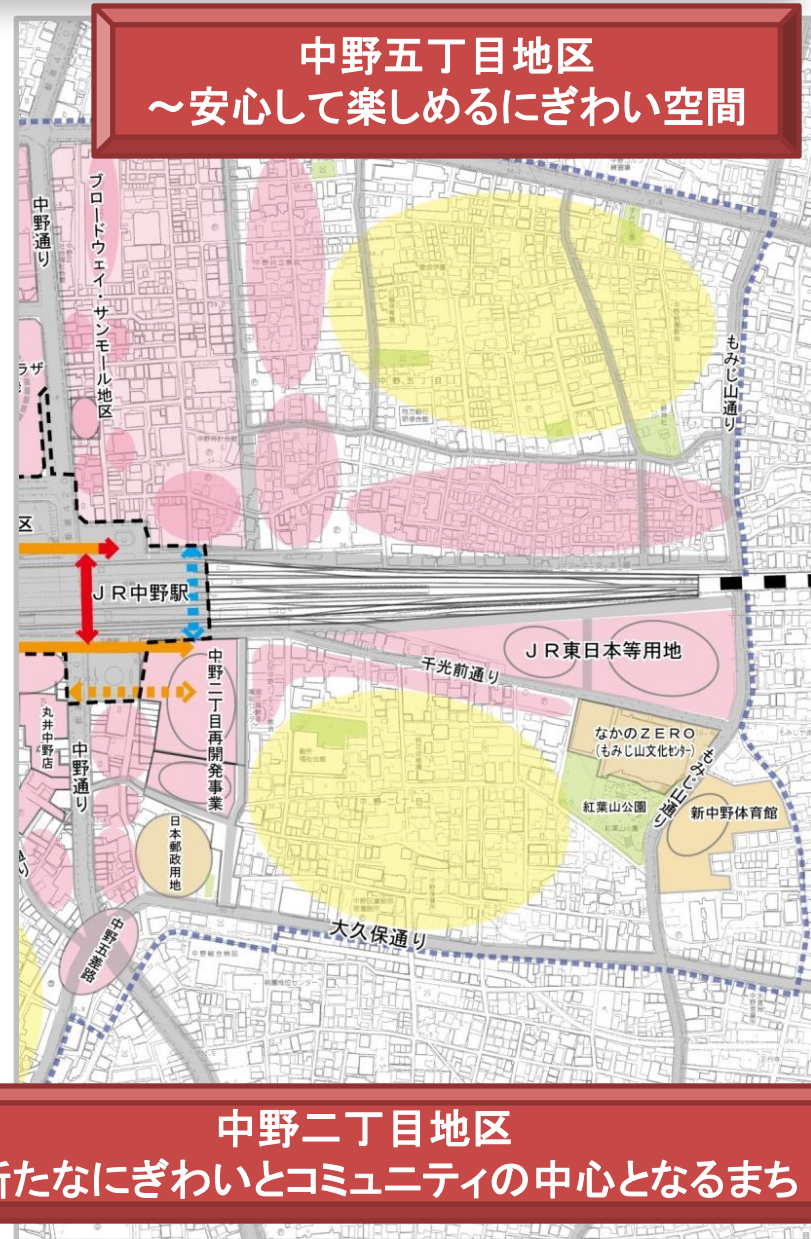
市街地再開発とあわせた拡張整備

【駅から五差路につながる中野二丁目一帯】

- 商業・業務・住宅・公共公益機能の集積による南口の
にぎわいの核の形成
- 東側主要区画道路、東西南北の歩行者動線整備

【もみじ山地区及び千光前通り周辺】

JR電車区を活用したまちづくり



中野五丁目地区
~安心して楽しめるにぎわい空間

中野二丁目地区
~新たなにぎわいとコミュニティの中心となるまち

第3章 各地区の整備方針(本体:P20~21)

道路・交通ネットワーク ～歩行者優先・公共交通指向のまちづくり

【道路】

- 基幹的な都市計画道路や課題のある交差点改良の優先的整備
- 地区内主要道路の拡幅
- 安全安心な歩行者・自転車道整備

【駐車場】

- 自動車・自転車駐車場の適正配置・供給
- 移動制約者対応駐車場、荷捌き駐車場の確保

【公共交通機関】

- 鉄道輸送力強化を図る対策の働きかけ

その他

【中野区役所】

- まちづくりに寄与する最適配置の検討

【中野体育館】

- 防災機能等を勘案した最適配置の検討

【新たな防災空間の確保】

- 大規模で多目的に使える屋内スペースの確保

